

Doing more with less

とても長寿命

チタン基体はリサイクルが可能  
(鉛面をリコーティング)

背面がチタンのためスラッジを大幅に低減

# チタン鉛電極

低スラッジ & 再生可能クロムアノード

クロムめっき 特にハイスピード浴に

# less sludge, MAX productivity

チタン+鉛合金クラッド 究極の低公害クロムアノード。

独創の技術で、数多くのメリットを提供いたします。

## ■スラッジ処理の悩み

RoHS 指令のもと、脱・6価クロム、脱・鉛アノードの動きが著しい今日ですが、特に硬質クロムめっきに於いては、まだまだ両者を上手く扱ってゆくことが不可欠です。

鉛合金アノードを使用する以上、槽内に沈殿する鉛スラッジ処理は避けて通れない問題ですが、SPFでは、スラッジ発生量を最小限に抑えるためのソリューションをご提案しております。

## ■背面チタンによるメリット

スラッジが浴中に堆積する最も大きな原因は、通電停止中（夜間、休日など）にアノード表面からPbO<sub>2</sub>が剥落するというものです。従って、通電によって生成されるPbO<sub>2</sub>面が停止中でも剥落しにくく、かつ長寿命なアノード採用すればよい、ということになります。



## ■電流効率のアップ

放電面が一方向で良い場合でも、通常のクロムアノードでは全体に放電します。チタン鉛電極は背面チタン部からは放電しませんので、指向性の放電コントロールがしやすい・迷走電流をカットできるといった利点があります。

## ■リサイクル可能なチタン基体

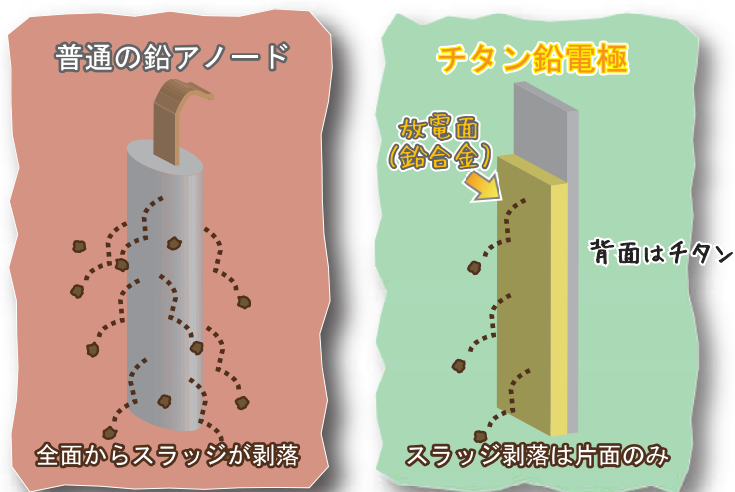
チタンは高価な金属であり、特に近年、絶対的な供給量が不足しております。

当電極では、放電面が消耗した際には鉛合金のみの「リコーティング」が可能。

背面チタン基体を再利用することで、環境負荷を軽減しつつ、更新コスト・廃棄アノード処理コストとその手間を省くことが出来ます。

## ■チタン白金電極との併用

チタン白金電極をメイン電極とし、チタン鉛電極を6価クロムイオンの適量維持の目的で使用することで、スラッジの発生を更に抑えることが出来ます。詳しくはお問い合わせ下さい。



SPFの「チタン鉛電極」は、異種金属クラッドという構造で上記諸問題を解決。通常のアノードに比して、かなりの長寿命を実現しています。